



コース 成宗・田端両村界限

(約 3.1km バス停善福寺川緑地公園前～バス停川南)

武士の伝説にちなむ地名や寺社をテーマに、江戸時代の成宗村と田端村の村名に由来する「成田」地域をあるく

約5,000歩

- 1 五日市街道** ▶ 成田東 3-17
江戸初期は「伊那道」、その後は青梅街道脇道など様々な名で呼ばれました。「五日市街道」は明治以降の名称です。
- 2 民間信仰石塔** ▶ 成田東 3-15
成宗村字「白幡」の念仏講中が建立しました。「白幡」の名は、源頼義・義家が奥州征伐に向かう途中、「源氏の白幡」のような雲が現れたことから名づけられたといわれます。
- 3 尾崎橋** ▶ 成田東 3-17
「尾崎」の名は、このあたりが、②の「源氏の白幡」に似た雲の「尾」のさき、であったことによるものといわれます。
- 4 宝昌寺** (3311)1440 ▶ 成田西 3-3-30
曹洞宗寺院。16世紀末頃の開山とされています。寛文八(1668)年銘青面金剛像には「武州玉郡中野郷成宗村」とあり、中世期に「中野郷」に属した区内の村は、江戸時代の初め頃までその地名を使用しました。
- 5 三年坂** ▶ 成田西 3-4
転んだ者は長生きできないという言い伝えがあります。坂で転ばぬように、と注意を促すためのものと考えられます。
- 6 尾崎熊野神社** (3311)0105 太宮八幡宮 ▶ 成田西 3-9-5
鎌倉から移住した武士による創建と伝わり、境内のクロマツは都内有数の巨樹です。
- 7 須賀神社** (3392)1027 ▶ 成田東 5-29-3
成宗村の鎮守社で、祭神は素戔鳴命(スサノオノミコト)。神仏習合により、江戸期は牛頭天王社と呼ばれました。
- 8 成宗弁財天社** ▶ 成田東 5-29
中野村・高円寺村・馬橋村三ヶ村用水記念碑は、天保12(1841)年に完成した、善福寺川の水を桃園川へ通す用水路の恩恵を受けた村の名主家が、明治初期に建立しました。用水路は、善福寺川の西田端橋付近の取水口から弁財天の手前までと、区役所付近が珍しい隧道(トンネル)でした。
- 9 田端神社** (3391)4408 ▶ 荻窪 1-56-10
室町期に土着した武士が勧請したという田端村の鎮守社。社名は、田の端にあったことに由来するともいわれます。
- 10 松溪公園** ▶ 荻窪 1-39
発見された遺跡を保存して公園としています。園内には「縄文時代の生活」を描いた園山俊二氏の漫画があります。
- 11 中道寺** (3398)2464 ▶ 荻窪 2-25-1
16世紀末開創の日蓮宗寺院。江戸中期に建てられた鐘楼門は、平成15(2003)年に当時の姿へ復元されました。
- 12 不動堂** ▶ 荻窪 2-28
江戸中期の銘を持つ石碑は、下荻窪村で流行した熱病が止むようと、村人たちが願をかけて造立したもので、その結果、病気の流行がおさまったといわれています。